

平成29年3月期 第1四半期決算概要

平成28年8月5日
デンカ株式会社

1.業績の概要

【総括（進捗度・当初予想比）】

- ・当第1四半期実績は、石化製品のスプレッド縮小や円高による輸出の手取り減少などにより、営業利益は43億円と前年同期に比べて16億円の減益となり、上期の営業利益予想120億円に対して36%の進捗率となりました。また、円高の進行により為替差損が発生したため、経常利益は24億円と前年同期に比べて35億円の減益となりました。
- ・第2四半期以降、円高の進行等による取引条件の悪化など、外部環境や当社事業は厳しさを増しますが、各製品の拡販と一層のコストダウンの実施により、期初業績予想の上期営業利益120億円を確保し、インフルエンザワクチンや診断キットが収益に寄与する下期は190億円、通期では営業利益310億円を達成することで、今年度も過去最高益更新を目指します。

【セグメント別状況（第1四半期前年同期比・第2四半期見通し）】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、石化製品のスプレッド縮小や円高による輸出クロロブレンゴムの手取り減などにより減益となりました。第2四半期累計では、円高の進行や5月から7月にかけて実施したスチレンモノマーの定修費負担などもあり、前年比減益となる見込みです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、セメントや肥料の販売が前年を下回り減益となりました。第2四半期累計では、セメントの販売は引き続き低調となる見込みですが、肥料やコルゲートの出荷増により、期初予想営業利益の達成を目指します。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムや蛍光体の出荷が増加した一方で、電子回路基板は減少し、営業利益は前年並みとなりました。第2四半期累計は、機能フィルムの出荷は増加が続きますが、電子回路基板は中国高速鉄道向けの需要回復が遅れるなど、前年並みの利益にとどまる見込みです。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、検査試薬やDXフィルム、トヨカロンの出荷は好調でしたが、円高による輸出製品の手取り減や食品包材の数量減、研究費の負担増等により若干の減益となりました。第2四半期累計でも同様の状況が続き、前年比減益となる見込みです。

【業績】

	平成29年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減
売上高	820	869	△ 49
営業利益	43	59	△ 16
経常利益	24	58	△ 35
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	44	△ 21

(単位:億円)

平成29年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成29年3月期 年度予想 (4-3月)
1,750	3,750
120	310
100	280
70	205

2.セグメント別 連結売上高・営業利益

		平成29年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	354	393	△ 39
	営業利益	22	34	△ 12
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	112	115	△ 3
	営業利益	△ 2	△ 0	△ 2
電子・先端 プロダクツ	売上高	108	113	△ 4
	営業利益	15	14	1
生活・環境 プロダクツ	売上高	151	148	2
	営業利益	7	9	△ 1
その他	売上高	96	100	△ 5
	営業利益	0	3	△ 2
消去差	売上高	-	-	-
	営業利益	0	0	0
合計	売上高	820	869	△ 49
	営業利益	43	59	△ 16

(単位:億円)

平成29年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成29年3月期 年度予想 (4-3月)
700	1,500
45	90
250	550
10	30
250	500
30	70
350	800
30	110
200	400
5	10
-	-
-	-
1,750	3,750
120	310

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		平成29年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	平成29年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成29年3月期 年度予想 (4-3月)
投 資	設備投資	39	40	△ 2	110	280
	M & A 他	3	20	△ 17	3	3
	計	42	60	△ 18	113	283
減価償却費		60	56	4	120	240
研究開発費		33	30	3	60	130
有利子負債残高		1,232	1,313	△ 81	1,200	1,150

	平成29年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)
為替レート [円/\$]	108.3	121.4
国産ナフサ [円/ki]	33,000	49,000

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	平成29年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	354	393	△ 39	△ 61	23
インフラ・ ソーシャルソリューション	112	115	△ 3	△ 0	△ 3
電子・先端プロダクツ	108	113	△ 4	△ 10	6
生活・環境プロダクツ	151	148	2	△ 11	13
そ の 他	96	100	△ 5	-	△ 5
合 計	820	869	△ 49	△ 83	34

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	平成29年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	22	34	△ 12	△ 61	21	29
インフラ・ ソーシャルソリューション	△ 2	△ 0	△ 2	△ 0	△ 2	0
電子・先端プロダクツ	15	14	1	△ 10	5	6
生活・環境プロダクツ	7	9	△ 1	△ 11	8	2
そ の 他	0	3	△ 2	-	△ 2	△ 0
消 去 差	0	0	0	-	-	0
合 計	43	59	△ 16	△ 83	30	37